

# 認定!

趣味乃  
しゅみのたつじん  
達人



花井 益夫 さん

(大府市市老連・吉田若葉会)

全日本愛瓢会理事・愛知県支部理事  
大府愛瓢会会長

## 丹精込めて育てる 瓢箪ひょうたんに魅せられて

「手間をかけた分だけ、

形のいい瓢箪が育つ。子育てと同じ楽しみがありま

す」と笑う、花井益夫さん。

地元生まれの地元育ち。勤務先の工場緑化事業で瓢箪を栽培したことが縁で「面白さに目覚め、平成12年から自分で作り始めました」。仲間を募って大府愛瓢会を設立。現在は約15人の会員がいます。



大きなものでは高さ80センチ、胴周り1メートル以上にものなる瓢箪。3月に種蒔きし、9月に収穫されますが「重さ25キロ以上に育つものもあり、運ぶだけで大変です」。水に1か月ほど漬けて中身を腐らせ、乾燥させるなど、完成までには半年ほどを費やします。

仕上げたばかりの瓢箪

を『素瓢』といい、全体のバランスはもちろん、肌の美しい瓢箪が珍重されます。

平成20年には、あいち



大府愛瓢会の皆さん。地元大府市のほか、近隣の東浦町や知多市からも参加されています

健康プラザ(東浦町)で『全日本愛瓢会総会』が開催され、花井さんもスタッフとして奔走。名誉総裁の秋篠宮さまをお迎えしました。「これからも納得のいく瓢箪を作っていきたいですね」と、目を輝かせます。

大府愛瓢会の瓢箪作品は、  
喫茶『能望瑠』

大府市米田町1-320

☎0562・47・4030

で、常時展示されています。